赤煉瓦の旧酒造工場から、
東京北区の未来をひらく

旧醸造試験所及び跡地公園 保存・利活用シンポジウム

明治37年に建てられた国の重要文化財「旧醸造試験所第一工場」。
普段は入れない内部を見学し、醸造・施設再生・観光の専門家と、
建物と公園をまちの新しい拠点として活かす未来を考えます。

2026 11.04 (水) | **14:00-16:00** 開場 13:30 | **参加無料**

会場	日本醸造協会 会議室 （北区滝野川２丁目６−３０）	対象	施設・公園の活用やまちづくりに関心のある事業者・区民など	定員	30名 （※先着順）

PROGRAM | プログラム

01 見学会
14:00–14:30

ガイドと巡る、赤煉瓦の旧酒造工場。日本酒づくりを支えた空間を体験します。

02 シンポジウム
14:40–16:00

ゲストトーク＋クロストーク

３つの専門分野から、利活用・継承の可能性を探ります。

※終了後、名刺交換の時間を設けます。

GUEST SPEAKERS | ゲストスピーカー

日本酒学

岸 保行
Yasuyuki Kishi

新潟大学 日本酒学センター
センター長／経済科学部 教授

「日本酒学」の立ち上げに参画。酒蔵経営や海外展開、日本酒の「物語」が持つ価値を研究。

施設再生

松島 孝夫
Takao Matsushima

株式会社エンジョイワークス
取締役

建築設計分野から事業企画、コミュニティ形成分野まで、全国各地で幅広い事業プロデュースを実施。

地域観光

杉山 徳卓
Noritaka Sugiyama

一般社団法人東京北区観光協会
COO・事務局長

地域資源を活かした観光振興やまちづくりを推進。赤煉瓦酒造工場を核とする「酒都」の実現に取り組む。

お申込み

←申込は二次元コードから
締切：11月２日（月）正午

https://forms.cloud.microsoft/r/MZjviUhEtM

主催　東京都北区
協力　公益財団法人 日本醸造協会

お問い合わせ
株式会社地域計画建築研究所
(略称：アルパック)
担当：山口・髙瀬・山本
TEL：075-221-5132